

トヨタ車体、ダカールラリー2017で ワン・ツー・フィニッシュにより市販車部門4連覇を達成！ ～たくさんのご声援ありがとうございました～

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：増井 敬二）のラリーチームであるチームランドクルーザー・トヨタオートボデー（以下、TLC）は、2017年1月2日から1月14日（現地時間）に南米大陸にて開催された『ダカールラリー2017 パラグアイ・ボリビア・アルゼンチン』に、ランドクルーザー200シリーズをベースとしたラリー仕様車2台で参戦し、ガソリンクラス・ディーゼルクラスを含めた市販車部門において327号車が優勝、332号車が準優勝となり、ワン・ツー・フィニッシュで4連覇を成し遂げました。

ゼッケン	ドライバー	ナビゲーター	順位		
			ディーゼルクラス*1	市販車部門*2	総合
327号車	クリスチャン・ラヴィエル	ジャン・ピエール・キヤルサン	1位	1位	23位
332号車	三浦 昂*3	ローラン・リットロイター	2位	2位	24位

*1:TLCは、市販車部門ディーゼルクラスに参戦エントリー

*2:ガソリンクラスとディーゼルクラスを合わせたカテゴリー

*3:トヨタ車体社員(総務部広報室所属)



ゴールポディウムで4連覇を喜ぶTLCメンバー



市販車部門優勝を果たした327号車

今大会に向けてチームは、ラリーカーのさらなるスピードアップをねらい、改造が許されるサスペンションの変更や16,000kmにわたる走り込み、そして過去にダカールラリーで総合順位トップ10に入った実績をもつクリスチャン・ラヴィエルをドライバーとして迎えるなど、クルマとチーム体制をこれまでになく強化して参戦しました。

レースは、舞台を南米大陸に移して以来、初めての開催地となるパラグアイの首都アスンシオンで熱戦の火蓋が切って落されました。327号車のハンドルを握るクリスチャンドライバーはその実力を如何なく発揮し、卓越した運転技能で見事なダッシュを決めると、その後も安定した走りでもレースをけん引し市販車部門トップでゴールしました。

また、前回の大会に引き続きドライバーとして2回目の参戦となる社員ドライバーの三浦(332号車)も前半の第3ステージで路面の段差に左前輪をヒットし、サスペンションにダメージを受けたものの、メカニックによる懸命な整備によりラリーカーは息を吹き返し、翌日の第4ステージでは見事な追い上げをはかり大きく躍進し、ステージトップの力走を見せました。その後はトップの327号車を順調に追走し、前回大会の5位を上回る2位でゴールしました。

トヨタ車体は、世界一過酷なラリーと言われるダカールラリーに参戦し続けることで、そこで得られたノウハウや育った人材を「もっといいクルマづくり」に活かすとともに、ランドクルーザーファンやラリーファンを拡大し、世界中のお客様に笑顔を咲かせ、感動をお届けしてまいります。

【今大会の概要】

当初は、総走行距離は約8,800km。内、競技区間は約4,100kmが予定されていましたが、ステージ途中の悪天候で第6・第9ステージが競技キャンセルとなり、第5・第7・第8ステージの競技区間が短縮され、今大会は総走行距離が約8,100km、競技区間は約2,700kmでした。

一方でコースとしては難易度は高く、高度なドライビングスキルと難しいナビゲーションが求められるラリーとなりました。

前半のアルゼンチン、ボリビアのコースでは、アンデス山脈をはじめとする標高3,500mを超える高地を中心とした競技が繰り広げられ、砂利や岩など凹凸の激しい路面がありました。改良したサスペンションがしっかりと路面をとらえ、刻々と変わる路面状況をもとめず走り続けました。第7ステージと第8ステージでは、ビバーク(キャンプ地)でのメカニックによるサポート・整備が禁止されるマラソンステージ(*4)が盛り込まれるとともに、後半のアルゼンチン西部のチレシト周辺では枯れ川の底を行く中で、非常に厳しいコースでしたが、ランドクルーザー200がもつポテンシャルと、TLCのチームワーク、そして「何としても勝つ」という気迫により全ステージを走り切りました。

*4:ドライバーとナビゲーターが車載の部品と工具のみで車両を整備

【NRJ部門で7年連続優勝】

NRJ部門(環境に配慮した代替エネルギーを使用したクルマの部門)においても、7年連続の優勝を果たしました。

当社は、植物性油から精製したBDFでの参戦に取り組むことで、循環型社会の仕組みが広がっていくことを期待し、2011年大会以降、今大会においても2台のラリーカーにBDFを100%使用しています。BDFの原料となる廃食油は、TLCのラリー活動に賛同いただいたスポンサー企業各社、ならびに小中高校をはじめとする近隣地域の皆様、当社従業員などから提供を受けており、前回大会からは株式会社デンソー(愛知県刈谷市)が取り組む微細藻類にCO2を吸収させて生産した藻油も原料としています。

開催年	2007(*5)	2008	2009	2010	2011	2012-2015	2016	2017
参戦車両	ランドクルーザー100		ランドクルーザー200					
BDF使用台数 (使用台数/出舞台数)	1/3台	大会 中止	1/2台	2/2台	2/2台	2/2台	2/2台	2/2台
BDF混合比率	20%	-	20%	20%	100%(*6)	100%	100%	100%

*5: 2007年大会は市販のBDFを使用

*6: 2011年大会は一部区間のみを軽油で走行

【コメント】

◆トヨタ車体 取締役社長 増井 敬二

ワン・ツー・フィニッシュで4連覇を達成することができて大変うれしく思います。応援していただいたファンの皆様や、ご支援いただいたスポンサーならびに関係者の皆様に感謝を申し上げるとともに、勝利に向かって心をひとつにして全力で挑んだチームメンバーにも感謝します。

南米大陸の道なき道を4年連続優勝で走り切ったことで、私自身が改めてランドクルーザーがもつ卓越した走破性と、60年以上もの間、変わらず世界で支持され続けている高い信頼性を実感しました。

今後も、ダカールラリーをはじめ、世界のあらゆる道を走ることで得られたノウハウや経験を「もっといいランドクルーザーづくり」に活かし、世界中のお客様の生活に笑顔と感動をお届けして参ります。今後も引き続きTLCへのご声援をよろしく願いいたします。

◆チーム代表 林 正敏 (トヨタ車体 常務役員)

私どもの造っているランドクルーザーで、社員参加の手作りチームが、4年連続、市販車部門で優勝できたことは、我々がやってきたクルマづくり、チームづくりが間違いなかったという結果だと思います。今年のTLCは、新しいドライバーを起用し、日本人メカニックも2人がフレッシュなメンバーでしたが、各々がしっかりと自分の役割を果たし、チームワークを発揮して、栄冠を勝ち取ってくれました。これも皆様のご声援のおかげです。

◆チーム監督 角谷 裕司 (トヨタ車体 総務部広報室所属社員)

ワン・ツーフィニッシュという最高の形で締めくることができました。
 応援していただいた皆様、本当にありがとうございます。何も言うことなしです。
 今回は、過去最高の距離をテストで走り込んできたので、クルマも選手も熟成することができたのだと感じます。
 また、メカニック陣も連夜の作業に追われることとなりましたが、持ち前のチームワークで苦しいときほど、
 団結できていたと感じました。最高の結果を最高の仲間と分かちあいたいと思います。
 応援していただいた皆様も含め、たくさんの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

◆327号車ドライバー クリスチャン・ラヴィエル

チームメンバーと表彰台をともに祝うことができました。期待の大きさにプレッシャーを感じることもありましたが、
 その期待に応えることができ最高の気分です。全ステージ厳しい戦いでしたが、クルマのポテンシャルが高く、
 なによりチームメンバーが一体となって素晴らしい仕事をこなしてくれました。チームメンバーに感謝するとともに、
 皆様の応援とサポートに感謝します。

◆332号車ドライバー 三浦 昂 (トヨタ車体 総務部広報室所属社員)

前回は上回る2位でゴールすることができて感激しています。そして、この1年間最大の目標として掲げてきた
 チーム4連覇を達成でき、とても嬉しく思っています。今回のラリーではチームのサポートはもちろんですが、
 私たち332号車の上位進出も大きな目標の一つでした。ローランナビゲーターはじめ、チームメンバーと過ごした
 この1年は厳しいトレーニングの毎日でしたが、成長した姿を見せることができ、全ての苦労が喜びに変わる瞬間を
 感じることができました。ご声援いただいた皆様、ありがとうございました。

(参考1)参加台数と完走台数

	部門	クラス	参加台数	完走台数	完走率
4輪	市販車 <small>(量産車にロールバー・大容量燃料タンクなどの「安全に走る」 ための装備を追加した車。主要部品の交換が禁止されている。)</small>	ガソリン	2	2	100%
		ディーゼル	6	5	83%
		小計	8	7	88%
	改造車		71	49	69%
	小型4輪バギー		8	5	63%
	計		87	61	70%
	2輪		143	97	68%
	クアッド(4輪バギー)		37	22	59%
	カミオン(トラック)		50	40	80%
	合計		317	220	69%

(参考2)過去の戦歴

開催年	1995-2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
使用車両	ランドクルーザー 80(1995-1998) ランドクルーザー100(1999-2004)	ランドクルーザー100				ランドクルーザー200								
成績	市販車部門ディーゼルクラス 優勝 7回	市販車部門 優勝		大会 中止		市販車部門 優勝		市販車部門 2位		市販車部門 優勝				
備考	アラコとして参戦	トヨタ車体として参戦												

6連覇

4連覇

以上

世界中のくらしに笑顔と感動をお届けする“もっといいクルマづくり”

